

京成バラ園に誕生 恋結び撮影スポット

6月17日までローズフェスタ

イメージしたインフィオラータ、フォトジェニックな恋結び撮影スポットが誕生。

「恋バラ・恋ばな・恋結び」をテーマに6月17日まで開催している「ローズフェスティバル2018」の初日となる5月11日、ブライダルファッションデザイナーの桂由美さんとフリーアナウンサーの高橋真麻さんをゲストに、インフィオラータ完成セレモニーが行われた。



80万組にウエディングドレスを提供してきた桂さんが、恋愛成就のパワーを込めた「恋結び」1輪を自身の恋も絶好調の高橋さんが挿すことで完成。千葉厄除け不動尊縁結び大社によるインフィオラータ、「恋結び」の鉢植え、ハートの絵馬への祈りも



桂由美さんと高橋真麻さんをゲストにインフィオラータ完成セレモニー

あり、特別販売も開始するなど華々しい開幕となった。

「恋結び」は昨秋から好評販売中のオリジナル品種でフェア主役の花。金子芳和代表取締役社長から、モナコの国際バラコンクールでグレートクル賞受賞とホットな報告があり「グレートクルは心の一撃という意味。インパクトを与える恋結び



バラが咲き誇る園内

にぴったり、今回2回目の受賞で大変光栄。鉢植えのコンクールでもあり、日本にも向いているとお墨付きをいただいた。ぜひ写真を撮っていただきSNSで共有していただければ」とあいさつ。

桂さんからは「人生で恋愛がないのはさみしい。うまくいって永遠の伴侶になれば一番いい。

うまくいかなかった時それが人生の中のいい経験になります」。高橋さんは「人を好きになるのはとても素敵なこと。祈りもあり最強のパワースポット。皆さんに来ていただき恋愛成就につなげていただきたい」と笑顔。

「恋結び」は、咲き進むにつれ濃いピンクがの丸弁高芯咲き。花径は10〜12センチ。強香。育種者の武内俊介氏は「目ぼれするバラ。丸弁高芯咲きの花形の魅力が若い世代にも伝わってほしいと思います」と喜びを語った。

1600品種1万本のバラが咲き香る3万平方メートルのローズガーデンでは、「ベルサイユのばら」原作者の池田理代子さんと元宝塚歌劇団宙組トップスター凰稀かなめさんによるスペシャルトークショウ（5月21日）、園内の恋にまつわるバラ12品種の人気投票「恋バラ総選挙」、インスタグラムのフォトコンテスト投稿募集など、広く情報を発信しながらフェアを盛り上げている。

入園料（5・6月）大人1200円、小中学生200円、シニア（65歳以上）障害者900円▼
<http://www.keisairose.co.jp/>